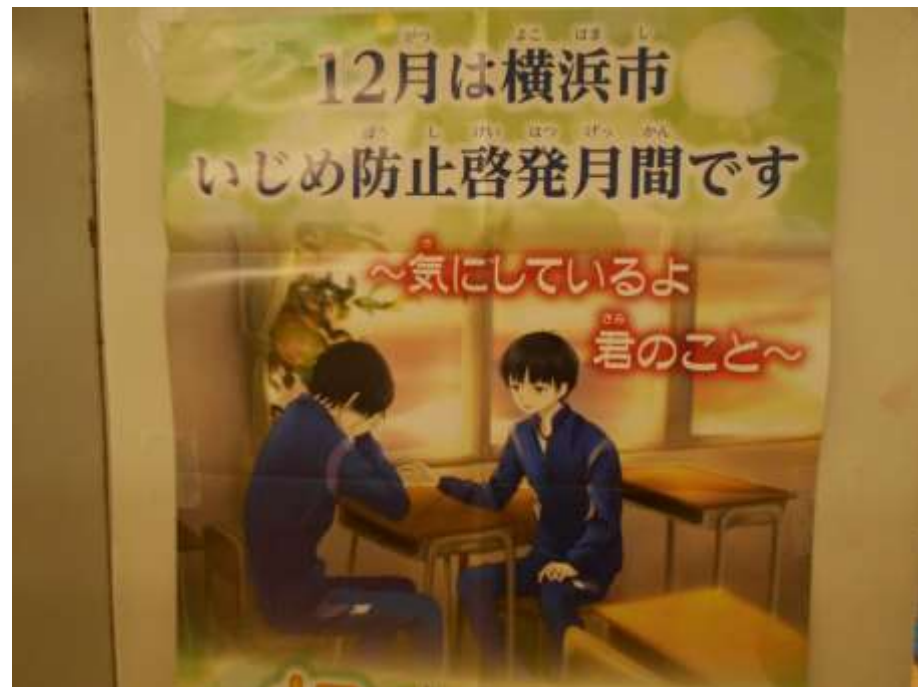


創作話(作:校長)

# 「勇気ある少女の話」

～気にしているよ 君のこと～



ぼくの目の前にいる友達は、

授業中、

いつもマンガを書いたり、読んだり、  
授業中、関係ないことをしている。

なぜ 彼は、勉強しないんだらう。

実は、そんな友達の姿を見るたびに、  
いやな気分になるんだ。

本当にいやな気分、

そう、何だか、  
とっても いやな気分だ。

でも、声をかけられないでいた。

そんな時、席替えがあったんだ。

その彼の隣には、ある女子が座った。

いつものように、

友達は、

授業に関係のない本を

読み始めていた。

その時だ。

隣にいたあの女子が、

叫んだ。

「あなた、

一体、何やってるのよ。

今、授業中よ。

そんなに、  
その本を読みたいんだったら、

家でじっくり

読めばいいでしょ。

はっきり言って、

先生にも、みんなにも  
大変、失礼だよ！

まわりのみんなに、  
とても、いやな気分させているって、

あなた、  
本当に、分からないの！」



教室中が、

氷つくって、この事だった。

その友達の中から、

一粒の涙が、

こぼれ落ちた。

その友達の目から、  
大粒の涙が、  
こぼれ落ちたんだよ。

彼は、

静かに、

つぶやくように

言った。

「ありがとう。

ぼくに、

本気で、  
注意してくれたのは、

君が、はじめてだったよ。」

そう、

彼は、  
本当は、

さみしかったのかもしれない。

彼は、  
静かに、  
「ノート」を取り出した。

その時だ！

「あなた！  
いつまで 寝てるの！」

ライオンのようなママの声だった。



「なんだ 夢だったのか。」

夢

でも、この夢は、

ぼくに、

大切なことを、

教えてくれているような気がしてきた。

創作話(作:校長)

**「勇気ある少女の話」**

# 図書館



12月は横浜市  
いじめ防止  
啓発月間です

いじめ  
ストップ  
とめる勇気  
させない空気





いじめ  
ストップ

とめる勇氣

させない空気

「まってえ〜」

「まってえ〜」

**「校長先生！」**

**「まってえ〜」**



**振り返ってみると**

**1年生の  
女子児童たちが  
そこにいました。**

「プレゼント！」

**「校長先生への  
プレゼントだよ！」**

それは、落ち葉の「花束」だった。





素敵な  
落ち葉の「花束」

**「こんな  
素敵なプレゼントを  
もらったら**

**今まででさえ、**

**君のことが、君たちのことが  
大好きなのに・・・」**

**「もっともっと**

**君のことが**

**君たちのことが**

**大好きになってしまおうよ。」**

**「それでも、いいの？」**



**数秒ほど時間が**

**止まったように感じた・・・**

**そのあと . . .**

**女子児童は**

**「ひとこと」 言った！**

「どっちでもいい。」  
(笑い)



子どもたちといつも一緒に

12月は横浜市  
いじめ防止啓発月間です

～気にしているよ  
君のこと～



相手から  
想



希望と勇気を届ける  
横浜市立豊田小学校